

# 元気モリモリニュース



ゆるキャラグランプリ準優勝！  
多くの方に応援いただき、ありがとうございました。  
(ジャーフ@三池光竹)

「いつか来た道」にならないように

～驚きの財政試算～

昨年8月、財政運営指針の改定が行われ、今後の財政見通しが示されました。それによると平成29年度末で約26億円あった大牟田市の貯金（財政調整基金）が、平成35年度末には、20億円の累積赤字になるという試算です。

しかも、この数字には、これから始まる事業（市庁舎整備、体育館、高泉市営住宅（二期））は含まれておらず、今後これらの大型事業を全て行った場合、平成35年度で累積赤字が40億円、平成41年度には70億円となることも見込まれるという。

前回の財政危機の時に出来る対策はやってきたので、今回の方が状況が厳しいとも考えられます。やるべきことと出来ないことの選別をこれまで以上に厳しく、将来世代に自信を持って引き継げる大牟田づくりをまい進します。

## 市議会定例会で質問しました

一般質問 平成30年9月11日

① 今後のまちづくりと財政について

- ・財政構造強化指針

- ・雇用の創出

- ・市庁舎の整備

- ・近代化遺産の整備・活用

② 大牟田市動物園と絵本ギャラリーについて

- ・動物園と絵本ギャラリーの相乗効果

- ・絵本を通じたまちづくりへの活用

一般質問 平成30年12月18日

① 今後のまちづくりと財政運営について

- ・来年度の予算編成

- ・政策の優先順位

② 絵本ギャラリーについて

- ・これまでの経緯

- ・絵本ギャラリー設置の目的

- ・建設・運営コスト

③ 介護予防・日常生活支援総合事業について

- ・市庁舎の整備について

- ・これからの市庁舎に求められる機能

- ・現在の検討状況

詳しくは、大牟田市議会ホームページ 議事録・インターネット録画(中継)をご覧ください。

## 来年度予算は、メリハリのある予算を

施設でいえば、市庁舎やごみ処理施設のように、必要不可欠で、市民生活に影響が大きいもの、体育館や図書館のようにどこでも市民生活に必要なものとして、すでに一定の理解が得られており、かなりの市民の利用がもっているもの、近代化資産、動物園、石炭館など必ずしも必要とはいえないため、どのまちにもあるわけではないが、市民の憩い・誇りやまちの魅力づくりなどに貢献するものなどに大きくは、分けられると思います。市庁舎の整備や体育館の建設にめどがつくまでは、近代化遺産の整備計画を先送りするなどの措置も必要になるのではないかと思います。

また、人口減少を止めるには、若者が望むような会社や職種の企業 安定感ある企業や一貫連などの先進業種)の誘致にもっと力をいれることが重要だと思います。まちなかの再生で、大牟田市が参考になっている日南市でも、新規の新店を促すだけでなく、一丁の誘致に力を入れ、100人以上の雇用に繋げています。

平成31年度予算は、収支試算が出てから、初めての予算です。今後予定されている大きな事業をしっかり実現するためにも、必要な予算を確保しつつ、切らぬところは切り込んだメリハリのある予算編成が必要になります。

### 市庁舎の整備について

10月に市庁舎整備について、検討委員会から答申が出ました。求められる<sup>※1</sup>5つの機能についての記述の後、場所についても、現在地が最適と結論付けています。その前に行われたアンケートの結果と合わせて考えると現地建て替えが有力だと思われま

しかし、耐震は大事ですが、市民一人一人は、それほど庁舎を利用することはなく、財政の状況を詳しく説明してからであれば、少し違った答えが出たかもしれません。

いくつかの<sup>※2</sup>先進地視察してきませんが、各自治体とも、それぞれの与えられた条件の中で、様々な工夫をしていました。大牟田市も、様々な知恵を出していく必要があります。限られた財政状況の中では、全ての機能を満たすことをあきらめることも考えなければならぬと思います。

市当局には、方針決定前に多様な選択肢をシミュレーションしておいて欲しいと思います。

※1 ①耐震などの安全性・セキュリティ、プライバシーの確保②バリアフリーや駐車場の使いやすさ③窓口配置などの効率性④省エネ・省資源の推進⑤まちづくり・文化活動の支援

※2 高校跡地を利用した氷見市や旧庁舎跡地を76年間定期借地として貸し付けることで新庁舎の整備費をねん出した豊島区、宿泊施設誘致のためホテルとの合築をした橿原市など

以前、都市計画を専門にしている友人から 世界的には、公共交通は赤字が当たり前」と聞いたことがあります。これからは、日本でも、バスや電車は、守っていくもの「へ」と変わっていくのかもしれない。

### 西鉄大牟田線沿線の動き



新米町 (再開発の行方が心配です)



大牟田駅西口イルミネーション

## 絵本ギャラリーについて

今の厳しい財政状況で、動物園の現場から必ずしも求められていない絵本ギャラリーを、入園料の値上げまでして、何のために整備するのか。「もつと言えば、整備する必要があるのか。」「ほかにも優先すべき課題があるのではないか。」「最近、投げかけられる質問・意見をまとめるというつもりです。率直な疑問だと思います。

市の考えを私なりに簡単にまとめると

- ① そもそも、絵本ギャラリー設置に対する強い要望があった。
  - ② 動物園は、今後、動物の種類や数が減少していくことが見込まれるので、来場者に、本物の絵本原画に触れてもらうことで、興味や感動を与えることができる新たな魅力として整備する。
  - ③ 過疎債の活用により、駐車場の整備で、約1億7000万円、当初の見込みよりの市の負担が少なくなる。
- といただいたところです。しかし、

① 要望した人の中にも、動物園の一番奥では、使い勝手やコスト面での疑問の声がある。



メスのプリンちゃんは嫁入り当初と比べると随分と大きくなりました。



アサデス 徳永玲子さんの読み聞かせ  
(皆さんに、応援いただいています)

② 今、動物園の魅力を創っている現場の人たちから特に望まれているわけでもないものを魅力アップと位置付けるというには無理がある。

③ 休憩室に、動物の理解を深めるための標本の展示をしたり、園の取り組みや動物の生息がわかるパネルなどが鑑賞できるような新たな機能を付加する場合、同様に過疎債適用の可能性はある。

など、市の説明には、説得力に欠けるところがあります。

また、現在、管理費として市が負担している8700万円とは別に絵本ギャラリーの管理に1600万円必要との試算も出ました。絵本ギャラリーがなければ現状の管理費でも充分ではないでしょうか。整備に合わせて入場料の値上げが検討されることになっていますが、入園料は上がり、その結果、入園者数が減り、市の負担もあがるという最悪のシナリオも十分考えられます。

大牟田の財政や動物園の将来像をよく考えたうえで判断が必要です。このまま、十分な準備や検討がなされないうまま、見切り発車的に事が進んでいくことをとても懸念しています。

## 「僕のケモノート」

～大牟田市動物園を舞台に  
映画が作成されます～



監督は、瀬木 直貴氏。各地域でその土地の魅力を映画にしていられる監督さんです。私は久留米市を舞台にした「ラーメン侍」を見て、その面白さに圧倒されました。「ラーメン侍」を上回る名作を期待しています。

## 世界自閉症啓発デー in おおむた」

「自閉症のことを伝えたい」 知ってほしい ほんのじつわたしのじつ」

毎年4月2日は、国連が定めた世界自閉症啓発デーであり、世界中で青色のライトアップが行われています。企ツフェル塔、姫路城、福岡タワーなど（日本ではそれに合わせ、4月2日から8日までを、発達障害啓発週間としています。大牟田でも、昨年初めて、市役所のライトアップが1週間青色に変わりました。

点灯式の後のトークでは、自閉症の主な症状「や 絵カードなどの「コミュニケーションツール」家族としての困難さやうれしかった経験「前日行われたイベントを通しての感謝の手紙」など、自閉症についての理解が深まることも、胸にじんじんとお話でした。多くの市民、当事者、家族の皆さん、行政からも副市長を始め、多くの職員さんにご来場いただきました。

認知症のように、自閉症や発達障害に対する皆さんの理解が深まり、当事者とその家族の方々が、少しでも生きやすい世界になっていけば。「これまで、活動してこられたご家族や支援者の方々の思いが、少しずつ形になっていけば、と思います。

自閉症の人が住みやすいまちは、みんなが住みやすいまちだ。」



市庁舎のブルーライトアップ



当事者の方の作品やパネルの展示@市役所



当事者参加企画：人気はホットケーキ作り

### 皆様のご意見をお知らせください。

(連絡先) 〒836-0807 大牟田市上町1-3-3-M201  
電話/ファックス 0944-52-5095

(電話は留守番電話のときが多いので、よろしかったら、  
メッセージをお願いします。)

Eメール mail@mori-jun.com

ホームページ http://www.mori-jun.com/

(「大牟田市議会議員 森 じゅん」で検索してください。)

